



診察室における言葉の玉手箱 ～第4回～

川崎幸クリニック院長
杉山 孝博

5. 手足がしびれる一心の動き（情動）と身体の症状とは密接に影響しあうもの

「最近、足がしびれるようになりました。動脈硬化が進行すると動脈が詰まって足が腐ってくるって聞きましたが本当ですか」

「それは、閉塞性動脈硬化症という病気で、確かに進行すると足先が壊死に陥り、切断しなければならない場合があります。でも、足のしびれの原因はいろいろありますから、初めから深刻に考えないで、検査を進めていきましょう」

「この間の検査の結果はいかがでしたか」

「足の痺れを起こす原因は、骨関節疾患、中枢神経疾患、末梢神経疾患、血管疾患、糖尿病、肝疾患、腎疾患、呼吸器疾患など実に様々です。あなたの場合、症状が軽微なことと、主な検査では異常が認められませんので、気にしないほうがよいでしょう」

「でも、どこかに異常があるから、痺れが出るのでしょうか。重大な病気を見落として手遅れになっては困ります。もっと徹底的に検査をしてください」

「どれほど検査をしても100%大丈夫だといえるわけではありません。また、すべての検査をすることができるわけでも、またすることが妥当であるわけでもありません。むしろ、気にしすぎることのほうが、しびれ症状を悪化させることが少なくないですよ」

「先生は、気の持ち方でしびれの症状が強くなったり弱くなったりするとおっしゃるのですか。しびれというはっきりした症状が気持ち次第で変わるとは信じられません」

「テレビ塔の展望台から真下を見下ろしたとき、地面に吸い込まれそうな恐怖感を感じて手足がしびれた経験を持つ人は少なくないと思います。このように、**心の動き（情動）と身体の症状とは密接に影響しあうもの**です。胃・十二指腸潰瘍、高血圧症、気管支喘息などは、心とからだは密接に関連しあっていて、心身症とも言われています。ですから、これ以上気にしないで、日常生活を送るようにしてください。それが、しびれに対する一番の治療法だと思います」

「やっと納得できました。安心して仕事に専念できそうです」

